

令和4年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

- 1 開催日時 令和4年10月6日(木) 10:58 ~ 11:27
- 2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第1委員会室
- 3 対象施設 青森産業展示館・青森市はまなす会館

4 出席者

(1) 選定評価委員会

- 委員長 舘山 公 (企画部次長)
- 副委員長 工藤 拓実 (総務部次長)
- 委員 竹内 紀人 (青森中央学院大学教授)
- 委員 桃野 敬 (東北税理士会青森支部税理士)
- 委員 泉 宏明 (環境部次長)
- 委員 土岐 政温 (都市整備部次長)
- 委員 大久保 綾子 (教育委員会事務局教育次長)

(2) 施設所管課 (経済政策課)

- 主幹 葛西 孝徳
- 主査 松島 綾子

(3) 制度所管課 (財政課)

- 副参事 阿部 有一郎
- 主査 櫻田 博光

5 案件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 一般財団法人 青森市産業振興財団
- ・住所 青森市第二問屋町四丁目4番1号
- ・代表者 理事長 細井 仁

(2) 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。

・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた得点（83.71点）が最低基準点（71点）以上を獲得していること。

7 主な質疑内容

委員：産業展示館の利用率について、2019年度が43.8%、2020年度が25.4%、2021年度が30.6%となっているが、2022年度は現時点でどのくらいか。また、両施設の最終目標値はどのくらいか。

応募団体：産業展示館の2022年度の現時点の利用率は、約60%となっている。また、最終目標値は、産業展示館においては、コロナ禍前までの定期利用者への利用促進を図るとともに、平日の試験や講座、セミナー等の利用促進を図ることで90%ぐらいを見込んでいる。はまなす会館においては、Wi-Fi利用をPRし、会議室の利用促進により100%に近い利用率を見込んでいる。

委員：Wi-Fiを活用しているのはどういった利用者か。

応募団体：主に製薬会社がリモート会議で利用している。

委員：Wi-Fiが活用できる会議室は個人利用も可能か。

応募団体：個人、団体を問わず利用可能である。

委員：提案している自主事業の中で新規・拡充の取組はあるか。

応募団体：産業展示館においては、特産の食材を使った料理で地域起こしを図っている団体を支援するため、顕彰事業として料理開発等の支援助成を新規で実施することとしている。また、はまなす会館においては、プログラミング教室等のパソコン講座を新規事業として予定している。

委員：青森大学社会連携センターとの連携とあるが、具体的にはどういった取組となるのか。

応募団体：津軽海峡ブランド認証事業を進める中で、多種多様な方々の意見を参考とするため学術系の方々と連携を図り、意見を取り入れるとともに、学園祭等で津軽海峡ブランドをPRしている。

委員：障がい者の雇用において、授産施設への委託を検討とあるが、どういった業務を想定しているのか。

応募団体：郵便物の封入作業や段ボール、ペットボトルの回収作業等をすでに委託している。